新京日日新聞
夕刊
三月二十二日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三一二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

〃關東軍の任務の完全遂行を期す〃

今朝東京驛出發に先立ち植田新司令官聲明

【東京國通】關東軍司令官兼駐滿全權大使植田謙吉大將は廿二日午前九時東京驛出發赴任の途に就く豫定であるが出發に先立ち廿一日午後四時次の如き重大聲明を發した

今回大命を拜し　外の重任を帶び滿洲に赴任す、洵に光榮の至りなり（中略）日滿兩國は年を逐ひ名實共に共存共榮不可分關係に進展し滿洲國建國の精神亦逐次擴充發揮せられ我對滿國策の基調たる滿洲國の獨立を尊重しその健全なる發達を助成するの方針は着々として具現せられつゝあり、之蓋し日滿兩國民の眞摯なる努力の結果に外ならず、然れども滿洲國現下の狀態は僅かにその基礎工作を終へたるに過ぎず、例へば滿洲國政治の充實刷新産業經濟の開發の如き共に今後尙幾多の年月と非常の努力を要する問題にして特に先づその根底に立つ滿洲國治安確立の問題を確決せざるべからず、國民諸氏は今や在滿諸機關が軍と一體となり所謂全滿一致の概を以て奮闘しあると共に我第一線將兵亦酷寒炎熱と闘ひ險難困苦に克ち貴重なる幾多の犧牲を出しつゝ友邦建國の盛業即ち滿洲國治安の肅正に猛進中なる事を想起せらるべし、抑々これ尊き文武の官民が一致して建設しつゝある事業は要するに友邦をしてその基礎を磐石ならしむと共に我國防の礎石を固めんとするにあり、滿洲と接壤する方面にはソ聯及外蒙國境の紛爭あり北支に於ては今や共匪の侵襲近く山西に及びつゝあり、之等も亦東洋和平のため日滿國民一致協力して善處すべき重要事にして滿洲國の前途洵に多難と言はざるを得ず、不肖は今闕下を拜辭して任地に向ふに當り官民諸氏が擧つて我對滿國策の根本義と滿洲の現狀に對する認識を深くせられんことを切望すると共に、畏くも　大元帥陛下の御稜威と擧國一致の强力な後援とによりこの非常の時局を打開する前衛たる關東軍の任務を全うせんことを期する次第なり

廣田內閣に對する陸軍側の意向

＝國民生活の安定を要望＝

【東京國通】陸軍では廣田內閣が現下の內外非常時局を打開すべく國政の根本的革新、國防充實强化等積極的强力政策を實現するためには行政の整理、稅制の改革、金融政策の改革等を斷行して歲入の增加を圖る事は當然であるとし之等に關する陸軍側の要望を政府に進言してゐる、然し增稅問題は直接國民の負擔に影響することになるため其改革は財界に異常の動搖を與へる如き事は極力回避し漸進方針を以て進むべきであるとして居り、此の非常時に際しては國民全般が負擔せねばならぬのであるから煙草の値上げ、郵便貯金の値上等に依る間接增收の外國民全般に大衆課稅として極めて僅少の課稅を課するのは仕方ないから課稅を新設する一方政府は勸業、農工等諸銀行の金利を引下げしめて事業の發展を期すると共に將來電力の統制、保險の國營、醫療施設の國營に着目して國民生活の安定を期すべきであるとしてゐる

植田關東軍司令官送別午餐會

廣田首相は十七日正午近く赴任する植田關東軍司令官を首相官邸に招き各閣僚出席のもとに盛んな送別午餐會を催した（寫眞は左端より植田大將、廣田首相、寺內陸相、後ろは各閣僚）

宋哲元氏保定へ　縣長會議で防共指示

【北平廿一日發國通】宋哲元氏は二十一日午前十時發專用列車で離平保定に向つた、同氏今回の赴保は防共に關する縣長會議を開催、重大指示を與へるためで共滯在は一週間の豫定である

通信統制は前內閣の方針踏襲

【東京國通】穎母木遞相は十九日午後五時二十分官邸に廣田首相を訪問、通信統制問題につき種々打合せを遂げた結果前內閣に於て決定せる既定方針を踏襲して行くことに意見の一致を見た

日滿貨物連絡　廿日より開始

【東京國通】日滿間の文化的經濟的發展に資せんとする日滿貨物連絡運輸は愈よ二十日より實施された

〃日支國交調整交涉はねばりが必要だ〃

豫備折衝經過を語る有田大使

【上海廿一日發國通】廿一日午前七時着列車で上海着佛租界官邸に落着いた有田大使は同十一時上海記者團と會見、南京に於ける日支國交調整豫備的折衝の模樣につき左の如く語つた

張外交部長と三日間に亘つて折衝を行つたが性質は本交涉とか東京より携行した訓令の實行とかいふものでなく極くフリーな立場で本交涉の基礎を作る豫備的折衝を遂げたに過ぎない、日本朝野は等しく支那が果して根本的に日支關係を調整する意思ありや否やといふ點に非常な疑惑を抱いてゐるので其の點を說明し先方の意向を確めた譯だ、果して支那側に兩國關係を根本的に調整したいと言ふ決意なり誠意が認められるかどうか此點が最も重要だが目下兩國間の折衝は繼續中であるので誠意があるかないか折衝の當事者たる自分の口からは申し兼ねる、然し國民政府の體面を傷けない範圍內で兩國關係を常道に復歸せしめたいといふ希望は充分抱いてゐるやうだ、蔣介石氏も決意ありと言つてはゐたが決意があるかないか抽象的な言葉だけでなく具體的交涉に入つてテストしてみなければ判らない話だ、會談の結果なほ重要ポイントに於て見解の相違があつたことは事實だ、と言つて日支の交涉は須くねばりが必要だ匙を投げるのはまだ早い

尙ほ大使は廿三日上海發陸路天津に赴き二日間滯在、それより新京に向ひ同地に於て植田新關東軍司令官と會見、一日滯在の後朝鮮經由で一路東上する筈

教學刷新の中樞機關　文教院設置か

【東京國通】潮兼攝文相は政府の聲明に基き文教を刷新し國民精神を作興すると共に國體と相容れざる思想をセン除する趣意を徹底せしむべく先づ教學刷新評議會の決議答申を待つて其根本的方策を樹立する方針であるが、教學刷新評議會では昨年十一月設置以來文部大臣が會長として總會及び特別委員會を開き教學刷新の指導精神確立に就て愼重考究を重ねた結果、教學刷新の權威ある中樞機關として文教院設置の有力意見が提唱されるに至つた、仍つて近く同委員會を開き文教院設置に就き討論が行はれる筈であるが委員の大多數は現在の國民精神文化研究所が單に國民精神文化に關する研究指導及び普及を司る機關に止るを遺憾とし國民精神文化研究所を教育調査部、思想局の一部其他關係機關を統合擴大强化したる文教院の如き機關の設置を要望してゐるから結局帝大總長或は大臣級を長官とする大組織の教學刷新中樞機關の設置が決議されるものと觀られる

日本牽制の爲のソ支通商條約交涉暴露

【上海廿二日發國通】日本牽制のためソ支間に秘密締約の交涉が進められつゝあることは既報の如くであるが、更に五十餘ケ條よりなるソ支通商條約締結も前記密約と並行して進行中であることが明瞭となつた、之が折衝のためモスクワよりの訓令に基き駐支ソ聯大使ボゴモロフ氏は夫人同伴廿一日午後三時發列車で急遽南京に向つた、又これに關聯して國民黨部領袖陳果夫氏は密かにモスクワに潛入、秘密協定締結の斡旋に當つてゐると傳へられ右の如きソ聯及び支那側の態度並に該協定の成行は頗る重大視されてゐる

土肥原中將　東京〇〇團司令部附に轉補

【奉天國通】第〇〇團司令部附に補せられてゐた土肥原中將は陸軍異動變更の結果東京第〇〇團司令部附に轉補せられ後任として三浦敏事少將が任命される筈である、尙土肥原中將は豫定通り廿五日午後一時十九分發〃はと〃で內地に凱旋するが、大連に於て三浦少將と事務引繼を爲す豫定である

官公署發行圖書目錄　總務廳で製作

國務院總務廳は今回官公署刊行圖書目錄を編纂し定價（送料共）壹圓五拾錢を以て營繕需品局より發賣する事となつたが第一號は大同元年三月より康德二年六月に至る間各官公署に於て刊行せる圖書地圖類の目錄を登載し爾後繼續して半ケ年又は一ケ年分を一括して登載刊行する事となつた

十二年以降總豫算廿三億突破せん

【東京國通】我財政は昭和七年以來著しく膨脹の傾向を辿り十一年度の不成立豫算に於ては既に廿二億七千八百萬圓に達して居り、就中國防費の增加は特に著しく、最近に至つては之が總豫算の大半を占めて居る現狀にあるが、更に廣田內閣は政綱に於て明示せるが如く特に國防の充實に政策の重點を置き、之がためには或程度まで財政の膨脹を覺悟して居り、十二年度よりの豫算總額は廿三億圓を突破する事は必定と見られて居る

清津、雄基二港　滿鐵で委任經營

【大連國通】北鮮三港主義の徹底化を期すべく北鮮清津、雄基二港の委任經營に就き滿鐵では過般來朝鮮總督府と折衝中の所總督府側でも無償委任經營に同意し目下之が實施に關する法令の發布に就き手續中である、尙之が實施は五月頃の豫定であるが埠頭諸料費は羅津を加へて三港均一とし總督府は北鮮鐵道同樣埠頭營業に對する國稅、地方稅も免除する方針である

人事往來

▲御影池警務課長　二十二日午前大連より
▲吉田電々會社總裁　同
▲三田同副總裁　同大連へ
▲金璧東氏（龍江省長）同黑龍江へ
▲東郷富一氏（昭和鐵工所員）二十二日午前鞍山へ
▲中原役太郎氏（日本ポリドール滿洲支店長）同內地へ
▲岡碩人氏（大同殖産）二十一日午後吉林へ
▲庄司雅一氏（日本鹽業會社）同大連へ
▲杉浦仲太郎氏（同重役）同
▲柴原正一氏（鮮銀）同ハルビンへ
▲野田卯一氏（大藏省官吏）同
▲篠塚繁氏（同）內地へ
▲內山松次氏（航政局員）同ハルビンへ
▲堀內竹次郎氏（滿洲國官吏）同
▲手代木禎二氏（滿蒙調査會）同奉天へ
▲山田三夫氏（電々社員）同大連へ
▲竹下壽晴氏（陸軍大佐）同新京國都ホテル
▲甲斐喜八郎氏（日本汐業會社）同
▲梅原各樹氏（特務機關）同
▲小山和吉氏（商業）同
▲白方藤榮氏（陸軍大尉）同
▲渡邊堅吾氏（同少尉）同
▲松島昌文氏（總局社員）同
▲辻修氏（滿鐵）同
▲黑田啓氏（實業家）同新京名古屋ホテル
▲小津利一氏（大林組）同
▲吉川勝氏（同）同
▲伊東喜八郎氏（滿洲國官吏）同
▲西澤德一郎氏（商業）同
▲鈴木兵一郎氏（滿洲國官吏）同
▲細木繁氏（陸軍中佐）同
▲長野義雄氏（同大佐）同
▲三好雅夫氏（會社員）同
▲白尾槇三氏（同）同
▲西村利盛氏（陸軍大佐）同
▲須見新太郎氏（同中佐）同
▲田川宇一郎氏（官吏）同
▲公平匡武氏（陸軍少佐）同
▲鈴木兵一郎氏（滿洲國官吏）同
▲岡本健一氏（商業）同大連へ
▲竹淵槇次郎氏（大林組）同奉天へ
▲梅田英作氏（會社員）同市內へ
▲奥松恒郎氏（滿洲國官吏）同ハルビンへ
▲仲川彥太郎氏（技師）同
▲除野康雄氏（滿洲國官吏）同來京ヤマトホテル
▲岩村海軍少將　同
▲桑原利英氏（滿鐵）同
▲辻茂樹氏（滿鐵）同大連へ
▲江原綱一氏（哈市稅關長）同ハルビンへ
▲佐藤庄四郎氏（哈市總領事）同
▲近藤義一氏（奉天金融理事）同市內へ
▲庵谷忱氏（奉日社長）同奉天へ
▲和田節治氏（會社員）同ハルビンへ
▲矢部英一氏（滿鐵）同ハルビンへ
▲坂本中佐　同來京新京ホテル
▲藤原武氏（陸軍少佐）同
▲磯部新氏（滿鐵）同
▲伊藤孫七氏（會社員）同
▲井上光太郎氏（同）同
▲那須弓雄氏（陸軍中佐）同
▲佐竹勝六氏（騎兵少佐）同
▲[illegible]治氏（同中佐）同

乳房ある悲み（四十）

（讀上演上映）　中西伊之助　泉氏久

父の遺言（五）

しかし、老後になつて、果敢ない行路病者のやうに死んで行く自分を想像してみると、やはり金であつた、財産であつた。そしてその人は他人からは百萬圓以上と見積られるほどの財産を作つた。が、もうその頃には、彼は五十の坂を幾つもすぎてゐた。そしてその病患は、彼の全身を冒してゐた。

その時分から、支那の方は日本人に管理をさせて、彼は日本の北國にある別莊地に病を養つてゐた、實をいへば死を待つてゐたのだ。

百萬圓と稱せられる財産は事實は整理をすれば三分の一の三四十萬圓であつた。彼はその財産の全部で自分の病氣の病理研究所を創立するか、もしくは醫學者の奬學資金に當るか、または、慈善事業に寄附するか——それについて迷つてゐたのであつた。

が、運命はいたづらである彼に侍つてゐた今まで多くの看護婦の中で、彼の病氣に心からの同情を寄せて、肉親も及ばぬ親切な看護をしてくれた一人の美しい看護婦は、彼女の生命にかけて信ずる神の掟に背いて、マリアのやうに孕んだのであつた。

一つの奇蹟——だが、愛はいつも一切のものを犠牲にして奇蹟を現すのであつた。決して子孫を遺すまいと心に決したその人も、やはり人間であつたのだ。

齊の父の義任が、その人から自分の罪の秘密を打ち明けられたとき、その不幸な罪の兒は八箇月の母の溫かな胎內に宿つてゐた。

おゝ、呪はれたる兒よ、お前はその重い父の罪を十字架の如く背負つて生れて行かうとするのだ！

『齊、お前はその母の胎內に宿つてゐる兒が、だれてあるかは、もうわしが說明するまでもないぢやらう？つまりその人は、生れて來る自分のたつた一人の不幸な子のために今まで色々と考へてゐた遺産全部を讓りたうといふのぢや……』

その父の言葉に、齊は夢を見てゐるやうに茫然とした。

『勿論、その人はその子に資産を讓るといふのではない、三十萬圓はわたしにその子の養育料として贈與するといふのぢや、たゞその子をわしの實子として戶籍に入れてくれればいゝ、そして永久に兩家の交際を絕つてくれといふのぢや。わしもその時、隨分考へた……』

『しかしお父さん、お母さんはあの子を自分で生んだものと信じ切つてゐらつしやるんぢやありませんか、僕はお父さんのお話にどうも腑に落ちないところがあります……』

齊は、父の言葉を全く信ずることができなかつた。

『さ、わしが人間には不思議な運命があるといつたのはそのことぢや、その時、わしが全く困つたことは、たとひわしがそれでいゝと承諾しても、お母さんは女のことだから承知はすまい、養子にするにしても、先方の家柄や血統を調べてくれといふに違ひない。たとひ三十萬圓の養育料を贈與されても、この家附き娘のお母さんのことぢや、何をいひ出すかわからない、ましてわしが高山家の財産を滅茶滅茶にしてしまつたのぢやから、そんなことをわしからいひ出せるものぢやない。しかし、その時、わしが不思議に思つたのは、お母さんも恰度姙娠八箇月だつたことぢや、わしは考へた、これは何かの因緣に違ひない、一つそれではお母さんから生れる子と、その人の女に生れる子とを、何んとかしてすりかへてみよう、そしたらお母さんの方も事なくすむし、また、先方もきつと喜ぶに違ひない……』

東三道街馬車屋へ 十一人組の强盜

馬三十九頭を强奪し去る 二頭を奪還二名逮捕

しばらく鳴りを靜めてゐた近郊の馬賊が昨夜突如新京城內に現はれ馬三十九頭を强奪逃走し首都警察廳搜査班は徹夜緊張活躍振りを觀せてゐる

城內東三道街門牌五十一號富海方客馬車屋李錫九方へ二十一日午後十一時半ごろ拳銃三挺所持の十一名組强盜が襲ひ拳銃を突つけられ慄へあがつてゐる家人を縛り上げ馬舍に繫留してある馬三十九頭を强奪悠々二道河子方面に逃走した、急報に接した首都警察廳では直ちに非常線を張ると同時に村上搜査股長以下出動、二班に分れて賊を追跡、松木巡官の率ゐる搜査班は双陽縣に先廻りする途中伊通縣で馬二頭を奪還賊二名を逮捕したなほ門脇巡官の率ゐる一隊も引續き村上搜査股長の指揮により目下賊を追跡中である

重傷の總局巡長 匪賊を逮捕

【奉天國通】廿一日午前零時半奉天日吉町鐵路總局の建築場に怪漢侵入、誰何した總局巡長川畑喜代松（二五）の頭部を蹴し持つたる手斧で一擊逃走せんとしたが氣丈な川畑巡長は重傷にひるまず携帶せる拳銃で射倒しこれを逮捕した、犯人は王更仁（三〇）と言ひ餘罪多數に上る見込で嚴重取調中である

在滿ソ聯人 續々歸化願出づ

【奉天國通】北滿に於けるソ聯各領事館はモスクワ政府の命令なりとし滿洲國殘留ソ聯人の引揚げを嚴命し若しこれに服從せざれば反政府黨と看做し國籍を剝奪すべしと嚴達、これが爲め最近在滿ソ聯人は其煩はしさに堪え兼ね且つ滿洲國に於ける生活の安易を思ひ最近滿洲國への轉籍を願出づる者續出してゐる

無けなしの財産を 犧牲者遺族へ

命拾ひした岡田首相の美擧

【東京國通】事件突發の廿六日朝五時四十分頃官邸を襲擊された岡田首相は義弟松尾大佐の身代りによつて奇蹟的に一命を助つたが、その際岡田首相は逸早く奥の間の押入の中に難を避け、廿七日午後變裝の上弔問客の中に紛れ込んで辛くも官邸を脫出し得たもので、これが脫出經過は既報の福田秘書官發表の談話通りである、尚ほ岡田首相は事件以來淀橋の自邸に只管蟄居謹愼し、事件の犧牲者達の冥福を祈つて淋しい生活を送つてゐるが、此程に至りなけなしの全財産を傾けて自分を護つて吳れた松尾家や警官遺族の人々に感謝の微意として贈つた

滿人貧農を 綏濱縣に移民

【奉天國通】民政部拓務司では南滿地方貧農救濟策として奉天、安東、錦州の三省より滿人貧農四千名を滿ソ國境地帶三江省綏濱縣に移民するに決定、四月の解氷期を待つて移民輸送を開始すべく鐵路總局との間に輸送割引を折衝中であるが總局に於ては極力援助をなす方針である

學良、紅軍の山西進入を 條件付で默過

確實なる筋より當地某機關に達したる情報によれば張學良は陝西に於て共產軍の領袖を交へ數次に亘り會議を開いた結果左の條件の下に紅軍の山西進出を默過する事となつた

一、閻錫山を驅逐し山西を消滅する事

二、山西占領の上は更に南進し平漢線を攪亂し大名、順廣平の民間武裝團體と連絡し冀南一帶を攪亂しつゝ大同に出で更に察綏に進出し張家口、庫倫間の路線を突破し一擧熱河進出を圖るべし、其際中央軍は剿匪を名として華北に進出、機を見て東北失地の回復を策する

因に右學良の意圖は支那側のソ聯容共政策の現はれとして疑ふ餘地なきものである

若素の出資で 番地札を貼附

新京市民の利益甚大

國都人口の發展、市街の膨脹に伴ふ番地の混同、郵便物の誤配等により現在新京市民の蒙りつゝある不便は尠くないが之が不便を除去すべく今回奉天の石井廣次氏は東京若素本舖奉天出張所より總經費三千圓の出資を仰いで、新京市內に番地札を貼附することとなり、既に實地踏査も昨年末から三ヶ月を費して殆んど完了、地事、警察、市公署等の諒解のもとに愈々四月中旬から着工の豫定であるが、明朗國都への贈り物として非常に期待せられてゐる

二・二六事件の 全貌明らかとなる

【東京國通】去る二月廿六日突如帝都に勃發した未曾有の叛亂事件に就ては事件の重大性に鑑み當局發表以外の報道を禁ぜられてゐたが、廿二日を以て報道範圍が稍や緩和される事となつた、この叛亂に參加した者は野中元大尉以下元將校二十名、近衞第三聯隊、步兵第三聯隊、野戰重砲第七聯隊の各一部下士官、兵合計一千四百數十名に及び之に北一輝、西田稅等民間側よりも數名の參加者があつて先づ首相官邸、齋藤內大臣官邸、渡邊敎育總監私邸、高橋藏相私邸、鈴木侍從長官邸、湯河原の牧野前內大臣宿舍たる伊東屋旅館、東京朝日新聞社を襲擊して齋藤、高橋、渡邊の三重臣を即死、鈴木侍從長に重傷を負はしめ岡田首相も亦即死したものと思はれてゐた所義弟の松尾大佐が身代りとなつて奇蹟的に脫出、牧野伯も亦危く難を免れた、斯くて叛亂部隊は首相官邸、新議事堂を中心とする麴町永田の一町帶高地を占據するに至つたので廿七日午前三時に至り遂に戒嚴令が布かれ、近衞第一兩師團は素より出動を命ぜられた佐倉、水戶、宇都宮、高崎松本等近接の軍隊は續々入京治安維持と警備に任じ同時に叛亂部隊に對する鎭壓が凡ゆる手段を以て行はれた結果、遂に廿九日午後に至り一發の銃火も交へずして叛亂部隊は歸順し叛亂將校の中野中元大尉は自決、河野元大尉も自殺を遂げ他の大部分は村中、磯部、澁川等民間參加者と共に衞戍刑務所に收容せられ歸順した下士官は夫々兵營に隔離收容されたが、之等の兵の中一千三百二十數名は十八日拘留を解除された、この大事件のため岡田內閣は總辭職をなし、組閣の大命は一旦近衞公に降つたが、公は之を拜辭した爲次いで大命は廣田外相に降り、非常な難產の後漸く三月九日に至り成立し非常時局の收拾に當ることとなつたがこの不祥事件のため陸軍の長老たる林、眞崎、阿部、荒木南、川島の五大將は責任を痛感して現役を退いた斯くて未曾有の叛亂事件は漸く鎭靜したが、この事件の蔭には既報の如く天野少佐の自殺片倉少佐の負傷、青島中尉夫妻の自殺等幾多の悲劇哀話が織込まれ歷史的事件に相應しい劇的情景が到る處に繰り擴げられた

各重臣邸襲擊狀況

【東京國通】事件突發の廿六日早曉襲擊された各重臣邸の模樣左の通り

△齋藤邸 廿六日まだ明けきらぬ早曉午前五時過ぎ四谷仲町三ノ四齋藤內府邸の表門裏を護つてゐた四谷署の護衞巡査が消散らされた物音に只らぬ氣配を察して起上つた春子夫人（六四）は二階八疊の間に就寢中の夫君の身を案じて馳上り夫君の寢室を背後に庇つて血の出るやうな必死の聲を張上げ「齋藤の命は國家に捧げたものです來る時が來れば差上げますがまだ死ぬ時ではありません、齋藤を射つなら私を殺して下さい」と叫び立てたが春子夫人は其場に傷いて退けられ此時「何事だ」とドアーのところまで出て來た齋藤子も身をかはす暇もあらばこそ無殘の姿となつて遂に果てたのであつた

△高橋邸 廿六日午前五時十分頃赤坂區表町の高橋藏相私邸正門を押破つて亂入する劇しい物音に女中阿部千代さんが直ちに二階十疊の間に就寢中の老主人に急を告げるべく馳上つたが早くも事態を見てとつた高橋さんは從容として別に騷ぐ氣配も見せず床上に立上り平然としてゐたがどやどやと室內に亂入せる一隊を見るや平素の溫眼をクワッと瞠き大喝一聲「何を亂暴するか」と叱咤したが、次の瞬間には老藏相は無慘の姿を橫たへ間もなく絕命してしまつた、尙ほ此亂入を防がんとした麴町署巡査一名は頤、兩腕に銃劍の深傷を受けた

△鈴木侍從長邸 廿六日午前五時半頃麴町區三番町鈴木侍從長官邸正門から闖入して來る一隊の騷々しい物音に早くもそれと察した剛毅な侍從長は床を蹶つて飛起き跳り込んで來る一隊を押へどつしりと落着いて、「お前達は如何なる譯で俺を射つのか隊長は誰だ、隊長を呼べ」と聲を勵まして叱咤したが無駄だつた、覺悟を定めた侍從長は「そうか射て」と言ひ放つた家人は直ちに鹽田博士に急報、博士は六時過ぎ來邸して手當を加へたのであつた、斯くて侍從長は引續き自宅に療養中であるが、經過は奇蹟的に良好で再起の日が期待されてゐる

△渡邊敎育總監邸 廿六日午前六時頃杉並區荻窪の渡邊敎育總監邸では早曉起出た鈴子夫人（五四）が家人に指圖して表門、裏門を開け掃除を終り食堂で朝食の用意を整へてゐた折附近の靜寂を破つて裏門に乘りつけたトラックの轟音警戒の憲兵を叱咤する聲、夫人がハッと振り返つた時は既に眼前に迫る闖入者の群があつた、此處で喰止めなければと正面に立ちはだかり兩手で制しつつ必死の聲を振り絞つて「主人を射つなら私を殺して下さい」と叫んだが「女には用はない」の一言に忽ち夫人は傍らに押退けられ追ひすがるところを突倒されてしまつた、奥十疊の寢室に愛孃かづえさん（一〇）と寢てゐた將軍は此慌しい物音に聽耳を澄ませて闖入を知り枕頭に用意のピストルを取上げかづえさんを鄰室の一隅の机の下に押隱した瞬間早くも襲擊を受けよろよろと倒れかかり「何を……」と立直らうとしたが深傷に堪えかねてそのまゝぐつたりとくづれ折れてしまつた夫人が駈つけた時は總監は彈丸全部を射ちつくしたピストルをしつかり右手に握りしめた儘無念の眼を瞠いて既に息は絕えてゐた

渡滿を前に

留置解除兵等軍務に勵む

【東京國通】今次の事件に關與した兵中千三百二十數名は一應の取調べを終り留置を解除され夫々原隊所屬に復歸し今では一般普通兵と共に營內に起居してゐるが、近くその大部は滿洲派遣の重大任務に直面してゐるので各所屬部隊では直ちに敎育に着手し旣に一部の者は重要な勤務にも服して一般同樣の取扱を受けてゐる、殊にこれ等留置を解除された兵は今更ながら自分達のとつた行動が全く誤つてゐたことを痛感し渡滿の曉には一死を以て今次の汚名を雪ぎ併に皇軍の一員たるの實を示さうと熱烈な意氣を見せ軍務に勵んでゐる

日滿軍人會館

昨日盛大な開館式擧行さる

昭和十年六月五日、新京新發路に建築に着手した「日滿軍人會館」は同十二月十五日竣工、爾來內部の設備を行ひ春季皇靈祭の佳日をトし開館式を擧行したが、當日は階上階下各室に模擬店を設け接待、餘興に寬謠、舞踊等があり、日滿軍人來賓で賑つた、因に同館の總工費三十二萬五千圓近世式の樣式で豪華な廣間、グリル大小食堂、貴賓室、遊步室、社交室、控室、大集會場、事務所、結婚式場、宿泊室等々百四室を有し、日滿軍現役將校同相當官、陸軍高等文官前二項の家族、前三項の主催する會合、日本在鄕將校同相當官、日滿官吏及其團體、在鄕軍人其の團體等に使用宿泊せしめることゝなつてゐる

皮の財布の四百兩 舞踏場で消える

蒼くなつた滿蒙毛織の鹽谷君 モンテカルロの怪

四百圓を懷中してダンスホールに乘り込み大盡風を吹かしてゐたモダンボーイが氣づいた時には四百圓が煙の如く消へうせ靑くなつて領警に屆け出た—市內吉野町二丁目滿蒙毛織會社出張所鹽谷茂夫氏が二十一日午後十一時過ぎ皮の財布に入れた四百五圓を懷中して新市街ダンスホールモンテカルロに到り踊り狂つた揚句階下のカフエモンテカルロには入り飲酒ののちいざ勘定となり懷中に手を入れるとつひ先程迄あつた四百圓が煙の如く消へてなくなつてゐるので大騷ぎとなり店內隈なく搜すうち一文もなくなつてゐる件の空財布がひつこり現はれ出たが鹽谷氏はどこで拔き取れたものか全然記憶になく早速領警署に屆け出で署では目下嚴重取調べを行つてゐる

第二高女の 假開校式

新京高等女學校の新學期始業式は來る四月二日午前八時より引續き第二高女の假開校式を同十時より同校講堂において擧行することとなつた

放送局送電線 今朝故障

お天氣の亂調子のせゐか、今朝は新京寬城子間の送電線に故障起り、朝の健國體操以來ラヂオファンはスヰッチ入れても音沙汰なし、放送局では大慌てであつたが、幸ひ城內三馬路の舊放送所の設備が豫備としてそのまゝ殘してあつたのに接續させ、午前十一時半のニュースからおわびの挨拶を附け加へて爾後プログラム通りに放送を始めた

又もや春雪

二十一日彼岸の仲日は氣溫七度五まで昇り市民は久し振りで迎春譜を奏でたがこの天候も夜に入つてからりと變り十一時頃から雪となり廿二日朝までに二、八センチ（雨量三・二三ミリ）の積雪があつたしかし氣溫は比較的高く最底溫度プラス〇、二で路面は降つては解ける雪のため通行人を惱ませた、この雪は新京平均最終降雪四月二十日に比ぶれば決して珍しいことではなくまだ〳〵數回の降雪あるものと見られる觀測所の話によると昨夜の降雪は南は四平街から北はチチハル、ハイラル方面まで降つて居り天氣は一兩日ぐずつくだらうと云はれてゐる

苦力の危禍

新京西四條通り株式會社新京倉庫材木部常雇苦力河北省生れ虞珍（三四）は二十二日午前十一時十五分ごろ材木置場でトラックから卸してゐる際誤つて材木の下敷となり頭部を粉碎即死した

卓球大會盛況

第三回日滿交驩卓球大會は二十二日午前十一時から商業學校講堂で滿洲國側卓球協會渡邊理事の挨拶があり終つて花々しく競技は開始された、兩軍ともに奮戰し妙技を展開しファンを熱狂せしめた

廿日迄の野犬狩 狂犬なし

新京衞生隊では去る十六日から二十日まで新京署の監督のもとに野犬狩りを行つたが、二十日までに野犬百一頭を捕獲し好成績を擧げたが狂犬は一頭も見當らなかつた、なほ廿日までの豫定を變更し引續き二十一日まで野犬狩りを繼續すると

藝妓の身拔失敗

市內吉野町二丁目八番地紹介業杵屋こと小島清氏方抱へ藝妓木籍東京市荒川區尾久町千五百一九番地長出タマ（二一）は數日前前借二千圓を踏倒して昨夜十一時ごろ家人の隙を窺つて無斷家出した、屆出でにより新京署で陶頴昭警務段に手配したるに今曉二時ごろ陶頴昭站附近で路警に發見、逮捕され身柄は本日午後一時五十分着列車で護送された

第五敎導聯 步兵團凱旋

【承德國通】昨秋以來吉林方面に於て掃匪工作に盡力中だつた第五敎導聯步兵團は幾多の武勳を樹て故杉下上尉以下十二名の遺骨と共に廿日午後六時列車にて承德に凱旋した

大同學院第二部 第三期生日本へ

大同學院第二部第三期生（滿人官吏）一行百四名は日本における汎ゆる產業部門ならびに名所舊跡視察見學のため來る二十四日午後十時新京驛發朝鮮經由で日本見學旅行の途に上るが視察地は京城―下關―京都―奈良―宇治山田―名古屋―橫須賀―東京―大阪―神戶で歸京は四月二十四日となつてゐる

〃〃〃〃 田村家慶事

原籍東京市現住所新京花園町三丁目二八田村豐氏次男豐彥氏（二七）は東京無線新京支店奈良眞治氏夫妻の媒酌により鐵路總局勤務坂東毎藏氏次女政子さん（二二）と婚約整ひ來る廿八日新京神社に於て華燭の典を擧行する由、新郞豐彥氏は昭和三年東京府立第一商業出身にして滿鐵敎習所に入り第二十期卒業現在新京列車區に勤務新婦は旅順高女出身の才媛である

廣石前署長送別

新京總領事館、同地方事務所同市公署等の發起で廣石前署長の送別會が二十一日夜ダイヤ街一つ家で催され、金首都警察總監以下、各科長、憲兵隊司令部、同本部首腦部、地事正副所長、領事、地委議長商議會頭、滿日、新京日日、民會、鄕軍等からそれ〳〵出席、主人側を代表して武田所長から送別の辭、廣石氏の謝辭があつて開宴寬いで惜別の情をつくし散會した

あす（二十三日）

△普通學校卒業式 午前十時

△地方委員會、地方事務所所長室

△特別市春季淸潔週間（四月四日迄）

△廣石前新京署長、午前九時五分發京濱列車で新任地ハルビンへ向ふ

今晚の主なる演藝放送

▲六・三〇謠曲「熊野」（東京）梅若萬三郎、梅若萬佐世▲七・一〇箏曲「東京」今井慶松▲七・三〇長唄「補公」（東京）松永和風▲七・五〇浪花節「紺屋高尾」（東京）篠田實

明日の天氣 西の風晴一時曇
日の出 午前五時三十八分
日の入 午後五時五十五分
月の出 午前五時十分
月の入 午後六時十六分
けふの氣溫 最高 四度五 最低 〇度二

長女 富子儀 永らく病氣療養中の處藥石効なく本二十二日午前十時半死去仕候に付茲に告候也
追而告別式は明二十三日午後三時半西本願寺に於て執行仕可候
昭和十一年三月二十二日
父 澁谷定雄
親族總代 有馬康藏 堀口正雄 野久尾榮之助 金箱國松 西山庄吾 濱崎季成
友人總代 川上謹一
藥業組合總代 宮崎竹二郎
町內會總代
三州會總代 島名福十郎

植樹節を中心として全面的緑化運動
吉林省の配布苗木卅五萬本

【吉林支局發】滿洲國帝制實施を記念する綠化運動は本年も來る四月二十日の植樹節を中心として全面的に行はれる筈で、當地に於ては省公署、市政籌備處、吉林森林事務所協和會吉林事務局等が主體となり、目下各關係機關を督勵して配附苗木の植附場所を選定すると共に其土地の權利關係、農耕狀態、土質、交通關係等を調査するなど諸般の準備を進めてゐる、而して本年度吉林省への配附苗木は唐松ハンの木、其他合計約三十五萬本で、この內三十萬本を各縣に配附し殘りの五萬本を吉林に植樹する譯で、吉林市に於ける本年の植樹祭は四月十九日午前十時より砲台山に於て擧行し、前記五萬本の苗木を一町步四千五百本宛十一町步に亘り、日滿官民及び各學校生徒の手によつて夫れ〳〵植附けを行ふ筈である、之は市民の努力を永遠記念すると共に市の恒久的財源を造らんとするもので、省公署實業廳の計算によれば本年植附けられたる五萬本の苗木は其半數が滿足に成長するものと見ても三十年後には約十萬圓の財產となるそうである

二十五日頃の豫定である

朝鮮總督府の明年度土木工事

【京城支局發】朝鮮總督府明年度の土木工事は十年度の繰越千八百萬圓の外に新規工事五千五百萬圓に達しその內譯は

官公署關係工事四千二百四十一萬圓、滿鐵關係工事四百萬圓、民間工事二千七百萬圓、計七千四百十一萬圓の外軍部關係の特殊工事二千百萬圓あり、土木工事六四パーセント建築工事三六パーセントの割合で一日の稼働實に十八萬八千六百人を必要とされてゐる

民會本年度豫算 總額約十萬圓
成案を得、廿五日議員會附議

【吉林支局發】當地居留民會本年度豫算編成に就て豫算委員に選ばれたる岸原、盛、山本三議員と民會正副會長以下理事側等の間に過般來引續き研究が行はれた結果漸く成案を得るに至り來る廿五日開會の議員會に附議する事となつたが本年度豫算は諸種の情勢により總額約十萬圓と云ふ未曾有の巨額に達するらしく、之れが編成に當つては左の諸件が考慮された由である

一、本年七月には課稅權の移讓に伴ひ豫算を更改せねばならぬから今次の豫算に課稅權移讓後に於ける新情勢を豫想して編成すること

二、教育費は今後に於ける人口增加及び情勢を見越して小學校、幼稚園、青年學校を合せ六萬餘圓を計上すること

三、火葬場を改築すること

四、理事及集金人一名の退職によつて浮び上がる人件費は削除し書記及び使用人の待遇は現狀を維持すること

五、事務費特に消耗費に可及的に削減すること

鮮鐵、愈よ飛躍準備

【京城支局發】朝鮮郵船會社の增資問題は既に決定し今後に殘されて居るのは單に事務上の折衝のみとなつて居る、即ち資本的に言へば三倍餘の大會社となり二十餘年間一日の如く變化がなかつた朝郵としてはまさに一大飛躍の第一步をふみ出したわけである、この更生した朝郵における社長以下重役の顏觸れは各方面から興味を以てみられてゐるが現森社長は永年の懸案たる大增資を實現した功勞者であるが健康の問題と本人の意思によりこの際自發的に引退するとの說が濃厚であり後任には今後の對總督府關係、朝鮮殖銀、日本郵船、大阪商船の緩衝地帶としてこの際天降說俄然濃厚となつて來た、而して消息通方面では井上現遞信局長の社長就任說が際立つて有力である

協和會錦州省議 重要議案山積
產業、教育、社會問題審議

【錦州國通】協和會錦州事務局では二十三、四兩日に亘り康德三年度錦州省聯合協議會を開催する事となつたが、中央より事務局次長平島敏夫氏の出席ある筈で、今次協議會に提出される議案總數は六十六件に達しこれを行政、治安、教育、稅制、金融、產業、交通、社會、其他の九項目に分けて審議する事に決定した、審議案中特に注目されてゐるのは

一、產業問題に於て鐵路沿線各地より治安警備上に支障なき矮不穀類の栽培を希望しつゝあり、其の理由とするところは從來高粱の栽培を禁ぜられてゐるため主として大豆を栽培し來りたるも、大豆の栽培は二ヶ年繼續しては其收穫著しく減少し到底永續性なしと云ふにあり

一、教育問題に於て各地農村より小學校費用を村會の負擔としたき希望あり

一、社會問題に於て地方區村に息訴會制度を設けて警察又は裁判所の手を煩はす必要なき程度の係爭問題を解決する一種の調停機關を形成せしめたしとの希望あり

等である、尙協和會本部組織處長河谷俊清氏は錦州省事務局長として近日着任の豫定である

後任助役
本月中に決定

【大連支社發】大連市助役は前助役岡野勇氏任期滿了を以て退任後其の儘空席となつてゐるが後任助役の選任に就ては種々憂鬱な事情あり丸茂市長は『助役は政治家型は不必要である助役は市長の女房役であるから事務家で市長不在若くは事故の場合は留守を大事に守り市長一人で兩方の用事が間に合はぬ時はその一方を引受けて用事を足すと謂つた風に良き女房振りを發揮して與れる人で澤山だ、而して助役が市長の女房役である以上市長の意思に反する人物を押し付けられることは眞ッ平御免を蒙りたい』といふ氣持の樣であるが然し何れにしても年度來の三月を餘すところ一旬餘りに迫つたのでこの際後任助役の決定を急ぐ必要あり市長は遲くも本月中には市會の承認を得て決定する模樣である

一キロ大連放送局地鎭祭

豫算總額四十五萬圓を以て市內聖德街、聖德公園內二千五百坪に新築される大連放送局は二十三日午前十一時よりアンテナの地鎭祭を執行することになつた、局舍の地鎭祭は

遊山季節控へ 山火事防止對策

【京城支局發】遊山季節を控へた京畿道では十九日午後一時より道廳第二會議室に府內各署長、同保安主任、消防署長、京城測候所長其他參集區域擴張に伴ふ山火事未然防止の非常警戒につき徹底的協議を遂げたが濕度五十度に達すれば警戒開始、三十五度に至れば非常警戒につき四月一日より實施する

大京城實現に伴ふ 交通連絡統制

【京城支局發】朝鮮鐵道局では近く大京城實現に伴ひ京城中心の近郊交通機關、鐵道、軌道、自動車の連絡統制の重要性に鑑み監督課では早くも十七日その根本方針に關する研究を開始したが近々京畿道當局との間に具體的對策が樹てられることゝなつた